

2019年2月14日

## 2018年12月期 決算説明会 質疑応答

株式会社リブセンス

2019年2月14日（木）開催の「2018年12月期 決算説明会」における質疑応答の概要は下記の通りです。

- 【Q】 リアルデータの蓄積は大変ですが、その一方で価値は高いと思われれます。どのように収集して、どの程度集まっているのでしょうか？
- 【A】 例えば、当社では採用率や採用理由・不採用理由のデータを保有していますが、これらは当社が採用課金のビジネスモデルを採っているためです。データの収集にあたってはユーザーに祝い金を出すことで精度を上げる工夫なども行っています。  
具体的なデータ量は開示していませんが、採用率以外にも口コミや不動産領域における災害リスク情報など、独自の情報を多く保有しています。
- 【Q】 求人情報事業と不動産情報事業にはどのような関係があるのでしょうか？具体的なシナジーはあるのでしょうか？
- 【A】 当社で行っている各領域のサービスでは顧客や必要なデータ項目は違いますが、「サイトに訪れ、サイト内で検索や情報の閲覧を行い、応募をする」という基本的なユーザー行動が似通っています。そのため、データ分析・集客といった面において共通のノウハウが活用できます。
- 【Q】 求人情報メディア事業において、利益が大きいのはどのメディアでしょうか？
- 【A】 求人情報メディア事業においては、転職会議、転職ナビの2メディアの利益貢献が大きくなっています。マツノバイトにつきましては、現在は利益の確保よりもリブランディングに伴う認知獲得を優先しています。
- 【Q】 営業外収益の「違約金収入」とはどのようなものでしょうか？
- 【A】 当社の採用課金商品において、未収債権となったものに関する回収益です。

- 【Q】 株式会社 waja が連結から除外されたことにより、イーコマース事業は来期どのような扱いになるのでしょうか？
- 【A】 イーコマース事業については、waja 社の連結除外によってセグメント自体がなくなる予定です。
- 【Q】 通期の見通しはどのように考えていますか？
- 【A】 詳細は非開示ですが、売上は下半期前年比で見たときにはしっかり成長できるようにしたいと考えています。また、利益については営業利益ベースでの黒字を見込んでいます。

以 上